



『第7回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会』
大会の2日目には大分県日出生台演習場を
視察しました。真ん中が私です。



『第25回全国健康福祉祭 宮城・仙台大会
ねんりんピック宮城・仙台 2012』
スポーツ議員連盟事務局長として福岡県選手団に激励
の挨拶をしました。(入場行進前のサブグラウンドにて)

国語力の向上について

【教育長答弁】豊かな日常生活を送る
にも、児童生徒が学習を進めるのも、全て
言語によって行われる。これらの基盤と
ことでも方策の一つであると考へる。県としては、地域の意向や、
ニーズを踏まえ、退職自衛官に限らず、
幅広く都市部の応援団といったものを、
中山間地域に目を向ける取り組みが
必要である。



小川知事に「ベトナム・ハノイとの国際環境協力について」知事保留質疑を行いました。

中山間地域の担い手対策について

【部長答弁】今後このような課題を検証した上で、開発における
可能な手法や費用などを総合的に勘案し、地元とも協議しながら、
有益かつ適切な利用方法を鋭意検討していく。

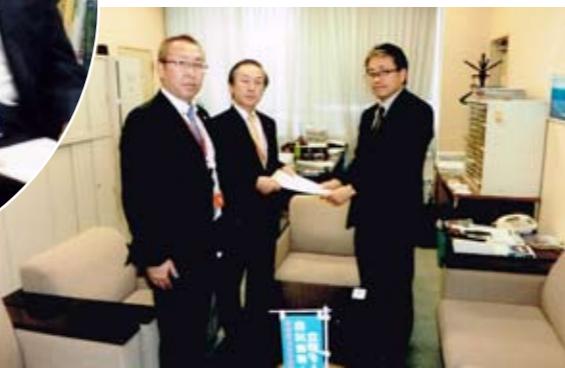
決算特別委員会

【部長答弁】中山間地域については高齢化が大きな課題である。
ご指摘の退職自衛官を活用して、中山間地域の環境改善に
福岡県が貢献することができる。これらを通じて我が福岡県に対する
アジア地域の高い信頼や評価につながっていく。

* 平成24年決算特別委員会で
質疑を行った項目です。



『新社会推進商工委員会 管内視察』
中部国際空港セントアは、太陽光発電
システム等を導入しています。



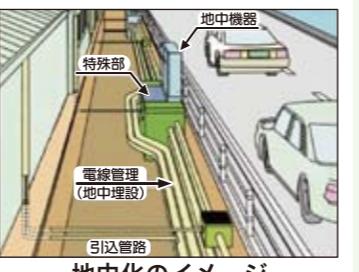
『小石原川ダム建設促進についての要望活動』
国土交通省と水資源機構、地元福岡県選出の衆参議院議員に泉日出夫副委員長と共に要望活動を行いました。

**Q 防犯の視点で基幹道路と
道路をどのように捉え、電線地中化をどう評価するか。**

【知事答弁】特に基幹道路が災害で寸断されると、県民の生活や経済活動に大きな支障を来たす。今後

も橋の耐震対策や法面対策など災害に強い道路整備に取り組む。電線の地中化は費用面など課題もあるが、安全による道路の寸断防止

などからも非常に有効と考える。



「防災のための基幹道路と電線地中化について」

十二月定例議会一般質問

Q 九州新幹線の全線開通による効果を踏まえ、大相撲九州場所を観光戦略としてどう捉え、展開・活動するか。

【知事答弁】九州場所は、魅力ある有力な観光資源と考えております。

これまで観光パンフレット、海外向けDVDなどで紹介している。九州新幹線全線開通のおいても、さらなるPRに努めていく。また、県産農産物のPRも兼ね国際センターの

正面玄関ロビーに県産の花を展示しており、今年はカンやコメの「元気つくり」などの試食販売も相撲協会に提案している。

「大相撲九州場所『九州市』の開催について」

九月定例議会一般質問



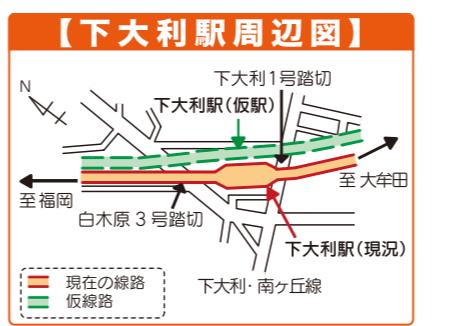
平成25年1月10日 下大利仮駅工事の様子です。

着々と進む西鉄天神大牟田線 連続立体交差事業（下大利仮駅）

現在、進められている西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（春日原→下大利間と合わせ福岡県と連携して福岡市が雑餉隈駅周辺の高架化も計画しています。平成32年度には約5・2kmが連続的に高架化されることになります。

現在、この春日原→下大利間と合わせ福岡市が連続的に高架化されることになります。また、本事業と並行して駅及びその駅周辺を快適で魅力ある街とするために、駅前広場、土地区画

整理等の事業も計画されます。現在、下大利仮駅工事は、内装やエレベーターなどの設備工事に入っています。なお、この仮駅の利用開始（現在の東口閉鎖）は今年の春の予定です。また、仮線の切替時期は、平成26年春を予定しています。この工事は、下大利仮駅という一時的な駅舎の設置ですが、この駅を利用する一日約一万六千人の乗降者のためには、この事業の一目も早い完成が望まれます。



地域を知って、参加して、考えて、伝えて行動する。